

分かりやすい施設を目指した取組

国立妙高青少年自然の家では、ご利用すべての皆様に対して、施設利用に関するアンケートのご協力をお願いしています。回答していただいたご意見やご要望については、所内で確認し、可能な限り改善に取り組んでいる次第です。改善内容の一部につきまして、ホームページ上でもご紹介します。

1 長靴の補充

夏季や冬季に不足しがちな23センチ、24センチを中心に補充しました22～25センチは、各サイズとも最低150足ずつ揃いました。

2 食堂座席数の増加

夏季や冬季に混雑してご迷惑をおかけすることも多かった食堂の座席数を増やしました。平成26年度は200席だった食堂の座席を、平成27年度は240席まで増やしました。

3 食事時間と入浴時間の調整

平成27年度から食堂と浴室の利用時間を調整させていただいています。食事は3つの時間帯、入浴は5つの時間帯の中で調整させていただいています。おかげさまで今年度は混雑に伴うトラブルも減少しています。

4 食堂利用の仕方の表示

食堂内の進む順に番号を掲示したり、片付け方法をわかりやすい表示にしました。利用される皆様からも分かりやすいとお声をいただいております。

5 宿泊棟結露対策

冬季は宿泊棟の壁や窓に結露が起きやすいです。そこで、結露を取るための「水取りワイパー」を各部屋に設置しました。利用される皆さんにぜひ使っていただきたいと思います。

6 蛇口レバー式のハンドル一部設置

館内の手洗い蛇口の一部をレバー式に変更したことにより、小さいお子さんをはじめ、どなたでも使いやすくなりました。